



件名：プロビデンス経済援助 (慈善ケア) ポリシー モンタナ州	ポリシー番号： PSJH RCM 002 MT	
担当部： 収益サイクル管理	<input checked="" type="checkbox"/> 改定版 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> レビュー済み	日付：2023年1月01日
エグゼクティブ・スポンサー： SVP 最高収益サイクル責任者	ポリシー・オーナー： ファイナンシャル カウンセリング担当エグゼクティブ・ディレクター	
承認者：SVP 最高収益サイクル責任者	制定日：2023年4月01日	

プロビデンスは、すべての人、特に経済的に豊かではない人々や弱い立場にある人々に奉仕するという使命への取り組み、思いやり、尊厳、正義、卓越性、誠実さという中核的価値観と信念によって導かれた、カトリック系非営利医療団体であり、医療は人権であるということを信条としています。プロビデンスの各病院の理念と実践は、緊急に医療上必要なヘルスケアサービスを、支払い能力に関係なく、各病院の地域社会の人々にすぐに提供できるようにすることです。

範囲:

このポリシーは、モンタナ州のすべてのプロビデンス・モンタナ（「プロビデンス」）病院に適用され、またモンタナ州のプロビデンス病院が提供するすべての緊急、緊急およびその他の医療上必要なヘルスケアサービス（実験または調査診療を除く）。このポリシーの対象となるプロビデンスの病院および関連施設のリストと詳細な説明は、別紙 A 「対象施設リスト」に記載されています。このポリシーで使用する「病院」という用語は、別紙 A に記載されている施設の範囲を指します。

このポリシーは、1986 年内国歳入法セクション 501 (r) の修正に準拠して解釈されるものとします。かかる法律の規定と本ポリシーとの間に不一致がある場合には、かかる法律が優先するものとします。

目的:

この方針の目的は、医療上必要な救急サービスやその他の病院サービスの全額または一部を支払うことができない適格な個人に経済的援助 (慈善ケア) を提供するための、公平、無差別、効果的かつ統一的な方法を確保することであり、プロビデンスの病院によって提供されます。

このポリシーの目的は、すべての連邦法、州法、自治体法を遵守することです。このポリシーおよび本書の経済援助支援プログラムは、プロビデンスが所有、賃貸、または運営する各病院の正規経済援助支援方針（「FAP」）および緊急医療方針を構成します。

責任者:

収益サイクル部門。さらに、登録、入院、経済援助カウンセリング、患者サポートに関連する



職務を遂行する適切なスタッフ全員は、このポリシーに関する定期的なトレーニングを受けます。

ポリシー:

プロビデンスは、サービス料金の支払い能力のために医療上必要な救急医療やその他の病院医療を利用できない場合や、医療費の支払い能力が障害となっている場合で、その他の病院でのケアや支払いの代替えが特定されない場合に、適格な低所得者、無保険または十分保険に加入していない患者に無料または割引の病院サービスを提供します。資格がある患者は、このポリシーに記載されている資格要件を満たしている必要があります。

専用の救急部門を備えたプロビデンス病院は、個人の経済援助を受ける資格の有無にかかわらず、差別なく、利用可能な能力に応じた緊急医療状態（救急医療および労働法の意味の範囲内）のケアを提供します。プロビデンスは、経済援助を決定するには、年齢、人種、肌の色、信条、民族、宗教、出身国、婚姻状況、性別、性的指向、性同一性または性表現、障害、退役軍人または軍人としての階級、または連邦政府や州、地方自治体の法律が禁止するその他のいかなる理由に基づいて差別しません。

専用の救急部門が完備したプロビデンス病院は、緊急医療スクリーニング検査と安定した治療を提供し、転送が適切な場合には、42 C.F.R 482.55 に従って個人を他の病院に紹介して転送します。プロビデンスは、緊急医療の提供を妨げる医療費回収活動の許可など、個人が緊急医療を受けることを思いとどまらせるような行為、入院慣行、ポリシーを禁止しています。

プロビデンスの FAP の対象となる専門家のリスト: プロビデンスの各病院は、このポリシーの対象となる医師、医療グループ、またはサービスを提供するその他の専門家のリストを具体的に特定します。プロビデンスの各病院は、患者がコピーを求めた患者に、このリストを提供します。プロバイダーのリストは、オンラインのプロビデンスのウェブサイトでも検索できます。
www.providence.org/obp

経済援助の資格要件: 経済的援助は、保険に加入していない患者と保険に加入している患者の両方、および保証人が利用できますが、そのような援助が本ポリシーおよび患者への許容される給付を規定する連邦法および州法と一致している場合に限りです。プロビデンス病院は、患者からの回収活動を指示する前に、プロビデンス病院が提供する慈善ケアの全部または一部について利用可能な第三者補償の有無を判断するための合理的な努力を払います。無保険の患者は、無保険の割引を受けることができます。適格な経済援助残高には、自己負担額、契約関係のない団体からの保険に加入している患者の料金、共同保険、免責金額、および被保険患者に関連する自己負担額が含まれますが、これらに限定されません。メディケアの未払い分として請求される控除額および共同保険金額は、慈善ケアの報告から除外されます。

経済援助を求める患者は、標準的なプロビデンス経済援助申請書を完了する必要があり、資格はその時点の経済的必要性に基づいて決定されます。入院時と退院時、患者の請求明細書、患者がアクセスできる経済援助エリア、プロビデンス病院のウェブサイト、支払い協議中の口頭通知などにより、患者に経済援助が利用可能であることを通知し知らせるための合理的な努力



が払われます。患者が入院または登録されるエリアおよび救急部門を含む、入院および外来エリアの標識にも掲載されます。プロビデンスは、記録管理ポリシーに従って、資格を決定するために使用される情報を保持します。

経済援助の申請: 患者または保証人は、経済援助申請書を要求して提出することができます。この申請書は無料でプロビデンスから、または次の方法で入手できます。退院時または退院前に、患者金融サービスのスタッフに援助をリクエストし、記入済みの文書を郵送で提出、または www.providence.org/obp を閲覧して完成した申請書と書類をダウンロードして提出します。経済援助を申請する人には事前審査が行われます。これには、患者が疲弊しているか、第三者の支払い源を利用する資格がないか、慈善ケアの基準を満たす可能性があるかどうかの審査が含まれます。

各プロビデンス病院は、患者が経済援助申請書を記入し、プロビデンス経済援助または政府が資金提供する保険プログラムからの経済援助の適格性を判断するのをサポートするために、指定された担当者を配置するものとします (該当する場合)。通訳サービスは、あらゆる質問や懸念に対処し、経済援助申請の完了を支援するために利用できます。

経済援助を申請する資格のある患者または保証人は、自分の収入が関連する連邦および州の規制に基づく最低連邦貧困水準 (FPL) を下回っていることが判明した場合は随時、資格の決定をサポートするために十分な書類をプロビデンスに提供することができます。プロビデンスは、患者またはその保証人が最初の決定に達するためのプロビデンスの合理的な努力に協力することを条件として、経済援助の資格の最初の決定がなされるまで、あらゆる回収活動を一時停止します。

プロビデンスは、当事者の収入が家族規模に応じて調整された連邦貧困基準の 400% を下回っていることを知った時点で随時、経済援助または割引の適格性の決定を下せることを認めています。さらに、プロビデンスは、患者が貧困者であるかどうかの最初の判断にのみ基づいて経済的援助を与えることを選択する場合があります。このような場合には、書類の提出は不要となる場合があります。



個人の経済状況: 患者の収入、特定の資産、支出は、患者の個人の財務状況を評価する際に使用されます。プロビデンスは、メディケア費用報告のためにメディケアおよびメディケイド サービスセンター (CMS) の要求に応じて、資産に関連する情報を検討および収集します。経済援助の資格を決定する際に考慮される資産には、以下は含まれないものとします。(A) 単一個人の場合、患者の金銭資産の最初の 100,000 ドル、および最初の 100,000 ドルを超える患者の金銭資産の 50%、(B) 2 人以上の家族の場合、家族の金融資産の最初の 100,000 ドルと、最初の 100,000 ドルを超える家族の金融資産の 50%、(C) 主な住居の純資産、(D) 内国歳入法に基づいて適格な退職報酬プランまたは繰延報酬プラン、または不適格な繰延報酬プラン、(E) 1 台の自動車と、雇用または医療目的で必要な場合は 2 台目の自動車、(F) 前払いの埋葬契約または埋葬区画、(G) 額面 10,000 ドル以下の生命保険契約。期日前解約に対するペナルティのある資産の価値は、ペナルティが支払われた後の資産の価値となります。資産を確認するためにプロビデンスから責任者に要求される情報は、個人の資産の存在、利用可能性、価値を判断するために合理的に必要なかつ容易に入手できるものに限定され、無料または割引のケアへの申し込みを妨げるために使用されることはありません。重複した確認フォームは要求されません。金融資産を確認するために必要な当座預金明細書は 1 つだけです。文書が入手できない場合、プロビデンスは責任者が署名した書面による証書を考慮します。慈善ケアのために患者を評価する際に病院が取得した資産情報は、回収活動には使用されません。

収入に関する資格: FPL に基づく収入基準は、無料または割引の治療を受ける資格を決定するために適用される場合があります。詳細については別紙Bを参照してください。

決定と承認: 患者は、記入済みの経済援助申請書と必要な書類の提出から 30 日以内に、FAP 資格決定の通知を受け取ります。不適格の判断には、拒否理由の説明が含まれます。。申請が受理されると、適格性の書面による決定が患者に送信されるまで、回収活動は保留されます。病院は、不正確または信頼性が低いと合理的に判断した情報に基づいて援助の資格を決定することはありません。

異議申し立ての解決: 患者は、拒否の通知を受け取ってから 30 日以内に、関連する追加文書をプロビデンスに提出することにより、経済的援助の不適格の決定に対して異議を申し立てることができます。患者は、異議申し立てを裏付けるために、関連する追加の文書を提出する必要がある場合があります。プロビデンスは、異議申し立ての審査が行われるまで、あらゆる回収活動を一時停止します。異議申し立てはすべて審査され、審査の結果拒否が確認された場合は必要に応じて、法律に従って書面による通知が保証人および州保健省に送信されます。最終的な上訴プロセスは、プロビデンスによる拒否の受領から 10 日以内に終了します。異議申し立ては、Providence Regional Business Office, P.O.Box 3268, Portland, OR 97208-3395 に郵送することができます。

推定上の慈善活動: プロビデンスは、完全な経済援助申請以外の方法で、患者の口座残高の慈善調整を承認する場合があります。このような決定は、公的に入手可能な財務記録またはその他の記録に基づいて支払い能力を評価する、業界で認められた財務評価ツールを使用して推定に基づいて行われ、それには、世帯収入、世帯人数、信用および支払履歴を含みますがこれらに限定されません。



その他の特別な事情: メディケイドやその他の政府支援の低所得者支援プログラムなどの FPL 認定プログラムの対象となる患者は、経済的支援も受けられる場合があります。メディケイドまたはその他の政府支援の低所得者支援プログラムによって払い戻されない料金から発生した患者口座残高は、以下に示す項目の全額または一部が慈善活動の償却の対象となる場合があります。これには、医療上必要なサービスに関連する払い戻し不可の料金が含まれますが、これに限定されません。

- 入院拒否
- 入院治療日数の拒否
- 対象外のサービス
- 事前の承認リクエストの拒否
- 補償範囲が制限されているため拒否される

極めて高額な医療費: プロビデンスは、その裁量により、極めて高額な医療費が発生した場合に慈善活動を行う場合があります。このような患者様には個別に対応いたします。



緊急時: 国家または州の緊急事態の際には、極めて高額な出費に対する援助とは別に、プロビデンスの裁量により経済援助が受けられる場合があります。

経済援助の対象となるすべての患者に対する料金の制限: 上記のカテゴリーに該当する患者は、以下に定義されている総費用の一般請求額 (AGB) の割合を超えて個人的に責任を負うことはありません。

妥当な支払いプラン: 患者が部分的な経済援助を承認されたものの、未払いの残高がある場合、プロビデンスは支払い計画の取り決めについて交渉します。合理的な支払い計画は、患者が経済援助申請書に記載した必須生活費の控除を除き、患者または家族の月収の 10% を超えない月々の支払い (利子または延滞料金なし) で構成されるものとします。

請求と回収: 利用可能な割引の適用後に患者または保証人が支払うべき未払い残高がある場合は、回収部に送られることがあります。未払い残高の回収活動は、FAP の資格が最終的に決定されるまで中止されます。プロビデンスは、回収業者による異常な回収行為を実行したり、許可したりすることはありません。プロビデンス病院の請求および患者が支払うべき金額の回収方法については、プロビデンス病院のポリシーを参照してください。このポリシーは、各プロビデンス病院の登録デスクまたは以下のサイトから無料で入手できます。
www.providence.org/obp

患者への払い戻し: 患者または保証人がサービスの代金を支払い、その後無料または割引の治療を受ける資格があると判断された場合、FAP の対象期間内にそれらのサービスに関連して支払われた支払い義務を超えた支払いは、州の規制に従って払い戻されます。

年次レビュー: このプロビデンスの経済援助 (慈善ケア) ポリシーは、指定された収益サイクルの責任者によって毎年見直されます。

例外:

上記の範囲を参照してください。

定義:

このポリシーの目的のために、次の定義と要件が適用されます。

1. 連邦貧困レベル (FPL): FPL とは、米国保健福祉省によって連邦官報で定期的に更新される貧困ガイドラインを意味します。
2. 通常請求される金額 (AGB): 健康保険に加入している患者に対する緊急治療およびその他の医療上必要な治療に対して一般的に請求される金額を、本保険では AGB と呼びます。プロビデンスは、緊急治療または医学的に必要な治療に対する病院の総料金に、メディケアまたは商業支払者の下で許可されている請求に基づく固定割合を乗算して、各プロビデンス病院に適用される AGB 割合を決定します。各プロビデンス病院で使用される AGB の割合とその計算方法を詳しく説明した情報シートは、次のウェブサイトアクセスして入手できます。
。 www.providence.org/obp または、1-866-747-2455 に電話してコピーをリクエストしてく



ださい。

3. 臨時回収措置 (ECA): ECA は、法的または司法的手続きを必要とする行為として定義されており、他者への債権の売却や信用機関や信用調査機関への不利な情報の報告が含まれます。この目的のために法的または司法手続きを必要とする行為には、先取特権、不動産の差し押さえ、銀行口座またはその他の個人財産の差し押さえ、個人に対する民事訴訟の開始、個人の逮捕を引き起こす行為、個人を肉体に執着させる行為、そして給料の差し押さえが含まれます。

参考文献:

内国歳入法セクション 501 (r); 26C.F.R. 1.501(r)(1) - 1.501(r)(7)
緊急医療および労働法 (EMTALA)、42 U.S.C. 1395dd
42C.F.R. 482.55 および 413.89
アメリカ病院協会の慈善ガイドライン
無保険ガイドラインに対するプロビデンスの取り組み
プロバイダー償還マニュアル、パートI、第3章、セクション 312



別紙 A - 対象施設リスト

モンタナ州のプロビデンス病院	
セントパトリック病院	プロビデンス セント ジョセフ メディカル センター

このポリシーは、対象となるすべての施設の入院および外来部門および診療所にも適用されることを明確にします。さらに、このポリシーは、対象施設の従業員、およびプロビデンスが過半数を所有または管理し、プロビデンスの名を冠した非営利または非営利団体およびその各従業員にも適用されます。

別紙 B - モンタナ州プロビデンス病院の収入資格

もしも...	そうであれば ...
家族の年間収入は、家族規模に応じて調整され、現在の FPL ガイドラインの 300% 以下である。	患者は経済的に困窮していると判断され、患者責任額を 100% 償却する経済援助を受ける資格があります。
家族の規模に応じて調整された世帯年収は、現在のFPガイドラインの301%から400%の間です。	患者は、患者負担額について当初の請求から 75% の割引を受けることができます。
家族の規模に応じて調整された年間の家族収入が FPL の 400% 以下で、かつ患者が過去 12 か月間でプロビデンス病院でこのポリシーの対象となるサービスに対して支払った医療費の総額が、家族の規模に合わせて調整された年間の家族の収入の 20% を超えている場合、	患者は、患者負担額の 100% の慈善給付を受ける資格があります。